

活動履歴と今後の予定

- 4/9 さんぽの会「うみの杜水族館&お花見」
 4/11 空き家活用WG
 4/25 清水沢東自治組織設立準備打合せ
 4/27 清水沢東会設立総会
 5/16 シェアハウス「シエルハウス土樋」見学会
 5/16 第1回理事会
 5/19 熊本県社協視察対応
 5/21 長町南空き家現地調査
 5/23 清水沢東会役員会
 6/1 さんぽの会「せんだい農園芸センター」
 6/2 まちあすフォーラムvol.1 登壇(新井)
 6/4 もりおか復興支援センター打合せ
 6/13 長町南空き家片付け
 6/15 清水沢東会役員会
 6/16 第2回(平成30年度)通常総会
 6/20 多世代交流複合施設「アンダンチ」見学会

あすと食堂
好評開催中です！

〈これまでの内容とこれからの予定〉 *カッコ内は調理担当団体です。
 4/15 あすと第三食堂(仙台白百合女子大)
 4/28 あすと食堂(ほっと亭)
 5/15 あすと食堂(グループひまわり)
 5/27 あすと第二食堂(仙台白百合女子大)
 6/2 あすと食堂(仙台男子厨房に入ろう会)
 6/10 あすと第三食堂(仙台白百合女子大)
 6/24 あすと第二食堂(ほっと亭)
 7/5 あすと第二食堂(グループひまわり)
 7/14 あすと食堂(仙台白百合女子大)

お気軽に
ご参加
ください！

会員数
正会員 賛助会員
39 23
(-1) (-2)

2018年6月1日 現在(前号比)

facebook
いいね!数
381
(+27)



入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町を拠点としつつ、そこで培われた復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆さまからの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願い致します。

継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。
 ・正会員：年間6,000円・総会議決権あり
 ・賛助会員：年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先

〈口座名義〉特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町
 ●郵便振替：02230-8-121908
 ●銀行振込：ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

@グリーン(宮城大学ボランティアサークル) 安全安心なまちづくり 一般社団法人日本で・あて推進協会 NPO 法人クラブス
 NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究会 NPO法人東日本ネットワーク手にとり隊
 NPO法人 みやぎ「こうでねいと」 共立女子大学 高橋研究室 グループひまわり CASEまちづくり研究所
 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社 仙台白百合女子大学佐々木研究室 仙台南健康友の会
 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 古山研究室 東北大学 東日本大震災PGT支援機構
 東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP
 日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ 長崎大学安武研究室 日本ヨーガ療法学会 認定療法士会みやぎ
 みやぎ生活協同組合 宮城大学 森本研究室 有限会社栗駒建業

役員名簿

代表：平泉 拓
 副代表：新井 信幸
 副代表：薄田 栄一
 理事：宮本 愛
 理事：加藤 渉
 理事：森山 英子
 理事：宮内 仁子
 監事：坂本 泰伸

編集後記

つなセンの第2回通常総会を6/16に開催し、各議案の承認を滞りなく執り行うことができました。今年度は、空き家(長町南)を活用したシェアハウスの運営、塩釜市委託による災害公営住宅コミュニティ支援等、新たな事業に挑戦していきます。そのため、スタッフ増員も予定しています。復興期から日常に移っていくなかで、状況変化に対応しながら組織として成長していきたいと思っています。(新井)

特定非営利活動法人

つながりデザインセンター・あすと長町

〒982-0011 仙台市太白区長町六丁目4番17-502号

TEL 080-3205-5177
 MAIL asuto@tsuna-cen.com
 WEB www.tsuna-cen.com

つなセン
TSUNAGARI Design Center
NEWS07
2018.06

長らく手付かずとなっていた民家の整理作業。東北工業大学の新井研究室の学生の皆さんが大活躍しました！

地域に開くシェアハウス

さくらガーデン視察に行きました(横浜)
 居場所づくりブックレット発行
 新聞改称〈つなセンNEWS〉のご報告
 【団体紹介】今野不動産株式会社

活動報告

Main Topic

シェアハウス、準備中！

仙台市太白区・長町南



1 空き家活用相談から借上げまで

つなセン会員の方を通じて遊休空き家のご相談を受け、昨年春頃より長町南三丁目にある空き家の活用検討を続けてきました。建物は、落ち着いた住宅地の中にある昭和の雰囲気を残す2階建て一軒家で、植木屋さんが毎年剪定する造りこまれた庭があります。昭和7年生まれのオーナーさんが49年から62年までお住まいでした。結婚して外に出られてからは、町会の老人クラブの会所等として使われていましたが、東日本大震災後は完全に使われなくなっていました。



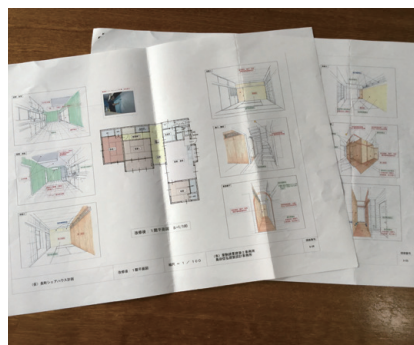
▲ 室内から運び出された荷物はトラックで仙台市若林区今泉の清掃工場へ

初めて室内を拝見した時、2階では震災で倒れた家具類がそのまま、布団や衣類が散乱し足の踏み場もない状態でした。キッチンや屋外倉庫もモノが沢山詰まっていた、オーナーさんもこれらをどうにか処分しなければ、人に貸すこともできないと半ば諦め気味。

そこで、まずは整理・片付けから一緒に取り組むことに(この経過はあすと新聞5号に掲載しています)。ご高齢のオーナーさんのペースに合わせ、半年以上かけてゆっくりと片付け作業を行い、最終的に1トン近いモノたちを運び出しました。オーナーさんの大切な品々を散乱するモノの中から救い出し、家の中も大分すっきりしてきた頃、つなセンに1棟丸ごとお貸しいただけることになりました。



▲ オーナーさんに確認しながら荷物を仕分け



▲ 改修計画案

2 古いモノ・個性を活かした改修計画

活用方法については、空き家活用WG等を通じて検討を重ね、シェアハウスに改修することに決定。1、2階の和室続き間をそれぞれ2部屋に分け、計5戸の戸建てシェアハウスにします。必要な補強や設備の入替は行いつつも、全体としてはあまり手を加えずに、欄間や表具を付け替える等工夫して現在の雰囲気を残し、古いモノ、背後にストーリーのあるモノの良さを感じてくれる方々に入居していただきたいと思っています。

庭の一部は家庭菜園にして、地域の方や被災者の方と一緒に自主運営を行う等、地域に開かれた、かつ多様なつながりが生まれる場所にしていきたいと思います。

今年10月1日オープン予定で、準備を進めています。ロゴづくり、名称検討、インテリア計画等のほか、改修工事と前後して、DIYによる壁のペインティングや障子の張替えワークショップ等も計画しています。どうぞお楽しみに！

〈プロジェクト協力者〉
 契約：今野不動産株式会社
 設計監理：島田信弘建築設計事務所
 施工：有限会社栗駒建業
 企画・募集協力：高橋彩(シェアマネージャー)
 力仕事・企画・募集協力：東北工業大学新井研究室の皆さん



▲ 2階の続き間。ここまで来るのが大変でした！

会員
団体紹介
No.07今野不動産
株式会社

今野不動産は賃貸住宅の管理と仲介業務等を行っている創業50年を超える仙台的な老舗不動産会社です。みなさまには、ショッピングピンクの「ラララ」の看板でお馴染みかもしれませんね。社会貢献活動にも積極的に取り組んでいて、国や県の住宅政策の諮問委員に選ばれたり、不動産業界団体の運営の中心的な役割を果たしたりしています。また東日本大震災の復旧・復興にあたっては、「みなし仮設」制度の創設に大きく貢献されました。

つなセンの取り組みでは、空き家活用ワーキンググループに参加され、シェアハウスの企画段階からアドバイスをいただいています。特に、家主さんとのマスターリース契約、入居者さんとのサブリース契約の作成について、ご尽力いただいています。

不動産業界では、単身高齢者などが賃貸住宅への入居を拒まれる状況もあり、そのための居住支援が求められる時代となってきています。つなセンとしても、そうしたことに協力していければと思っています。

Topics

さくらガーデン視察に行きました〈横浜〉

3月末、玉浦西(岩沼市)にて展開中の中庭緑化活動の一環で、今年度の取り組みに向けて、菜園のあるコーポラティブ住宅(分譲・賃貸)として有名な「さくらガーデン」(横浜市郊外)の視察に、玉浦西住民の方々と出かけてきました。さくらガーデンには、つなセン会員の藤岡泰寛さん(横国大准教授)がお住まいになられていることからご招待いただきました。

この日は、居住者など約30名が集い、樹齢約200年のしだれ桜の下でお花見が開催されました。居住者らでつくったピザ釜で好きなものを焼いたり、お手製のシュークリームが登場したり、持ち寄りの料理も魅力満点、さらに、ビールサーバーも用意してあったりで、これ以上ない至福な時を過ごさせていただきました。玉浦西から参加のおひとりは気分が高揚したせいか、みなさんの手拍子のもと「さんさ

時雨」を高らかに歌い上げ(かなり上手!)、会場を大いに盛り上げていました。その後も数曲続きました。そして「次はさくらガーデンのみなさんを玉浦西の活動にご招待したいね」と、赤ら顔のまま今後の活動の抱負を、お土産として持ち帰ってきました。

玉浦西では、今年は子どもたちなど多世代が参加しやすい菜園づくりを展開しようと検討しています。



居場所づくりブックレット発行

これまでの復興支援の実践を通して、高齢者などの孤立防止、生きがいづくりのためには、集会所を外部に開いて利用を促進していくことが肝要であると常々感じてきました。そこでこの度、つなセンの活動と各地の情報を集めて、「災害公営住宅の集会所を活用した居場所づくりブックレット」を発行しました。中身は集会所を居場所とするためのノウハウと楽しさ満点の活動事例を掲載してあります。今後、被災各地の住民グループや支援団体などに配布していく予定です。お求めご希望の方は、つなセン事務局へご一報ください。

新聞改称〈つなセンNEWS〉
のご報告

これまで「あすと新聞」の名称でお届けしてきましたが、今号より「つなセンNEWS」に改称いたしました。改称の理由につきましては、つなセンの活動が、あすと長町の範囲を超えて、多様な地域(盛岡、塩釜、岩沼、南相馬、益城など)へ復興支援の取り組みが広がっていったことから、タイトルと掲載内容との整合をとるため、改称が必要ではないかと検討してきました。5月の理事会にて数案のなかから最も人気の高かった「つなセンNEWS」を選定するに至りました。「あすと新聞」という誌名にも愛着があり、正直、捨てがたいものがありました。

新たに生まれ変わった「つなセンNEWS」では、みなさまに活動内容がより伝わりやすく、より親しみやすくなるよう心がけていきたいと思います！